

教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区 分	各 教 科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視

【資料2】OK English



聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

3 本校の取組

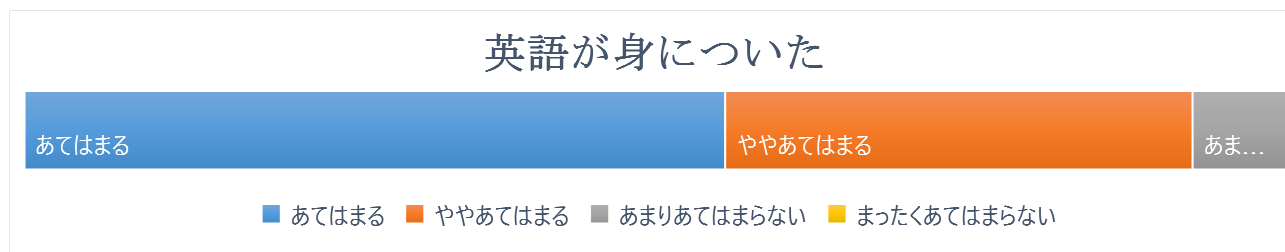
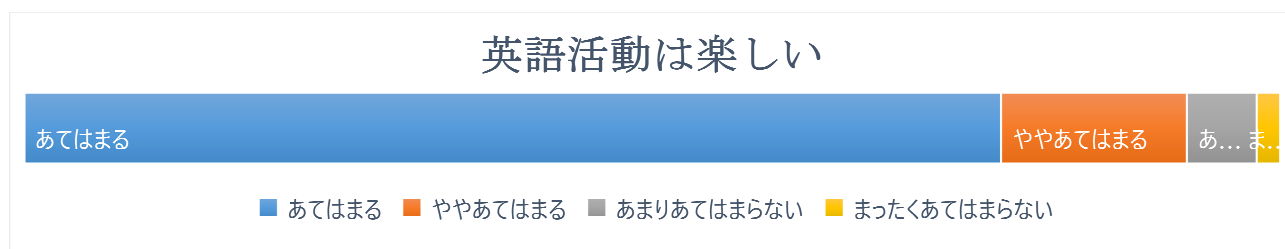
奥殿小学校では、毎日13時20分から13時30分を「英語活動」の時間としています。1年生から4年生までの児童は、毎日10分間DVDに出てくる外国人の先生の指導の下、アルファベットを覚えたり、ものの名前を覚えたり、英語での日常的な会話を身に付けたりしています。

最初から外国人の先生のネイティブな英語を聞くことにより、外国人との会話で通用する「聞き取る力」と「外国の方に通用する発音」が自然に身に付いていきます。

この10分間を大切な時間として、集中力をもって継続していくことが大切であると考えています。

4 成果

【資料3】児童のアンケート結果



令和4年度英語活動について、2年生から5年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか」という質問に対し、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童は、全体の93%でした。また、「英語が身に付きましたか。」という質問に、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童は、全体の93%で同じ結果でした。子どもたちの中に英語活動が習慣化し、英語を身に付ける楽しさを感じ、意欲的に学習に取り組んでいることが分かります。

グラフをよく見てみると、「英語活動は楽しいですか」という問いに対して「まったくあてはまらない」という回答をした子がわずかながらいるのが分かります。DVDの視聴を中心として行われる英語活動に対応できていないことが原因として考えられます。こうした子に対して、教師が十分に支援を行い、英語活動が楽しく行えるようにしていく必要があります。

全ての子供が意欲的に取り組んでいけるように、一人一人に目を向けた指導をしています。

5 保護者の声

【資料4】保護者のアンケート結果



令和4年度英語活動について、2年生から5年生の保護者にアンケート行ったところ、「子どもたちは楽しみにしていますか」という問いに対して、「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた保護者は、全体の94%でした。また、「英語活動は必要ですか。」という質問に対し、「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた保護者は、全体の100%でした。このことから、多くの保護者が本校での英語活動について関心を持ち、子供たちから英語活動の様子を聞き、活動の内容に期待をしているのが分かります。

生活の中に英語が不可欠になっている今、子供たちが楽しみながら英語の力を伸ばしていける活動になるように努めていきたいと思えます。

6 まとめ

保護者のアンケートからもよく分かるように、子どもたちにとって、英語の能力を小学校の早い段階から身に付けていくことは大変有効な方法です。

毎日行われている「英語タイム」では、外国人の先生のネイティブな発音を聞きながら、様々に工夫された楽しい学び方で学習を行っています。生活の中で使われる英語に接することで、より自然に楽しく英語を学習することに繋がっています。

子供たちは日々の英語活動の中で、聞く力や話す力を確実に身につけています。今後は、力がついたことが自覚できる活動を行い、子供たちに自信を与え、より意欲的に学習を行っていききたいと思えます。